opentext™

Release Notes

OpenText™ eDirectory CE 24.4 (v9.3) リリースノート

2025 年 1 月

OpenText eDirectory CE 24.4 (v9.3) リリースノートでは、新機能と、以前のいくつかの問題の解決策について説明しています。これらの改善の多くは、お客様からのご提案に直接応えることによって実現しました。お客様からの貴重なご意見に感謝いたします。弊社の製品が皆様のご期待に添えるよう、引き続きお力添えを賜りたく存じます。フィードバックがございましたら、弊社のコミュニティ (https://community.opentext.com/cyberres/iga/edirectory/)Web サイト OpenText eDirectory Community Support Forums までお寄せください。こちらのサイトでは、製品通知、ブログ、および製品ユーザグループのサービスも提供しています。

すべてのパッチとサービスパックを含め、バージョン 9.x で解決されているすべての問題のリストについては、TID 7016794、「History of Issues Resolved in eDirectory 9.x」を参照してください。

このリリースと最新のリリースノートに関する詳細情報については、マニュアル (https://www.netiq.com/documentation/edirectory-93/) の Web サイトを参照してください。この製品をダウンロードするには、Software License and Download (ソフトウェアライセンスおよびダウンロード) (https://sld.microfocus.com/) ポータルを参照してください。

- 1 ページの 「新機能」
- 3 ページの 「システム要件」
- 3 ページの 「インストールまたはアップグレード」
- 4 ページの 「既知の問題」
- 4 ページの 「その他のマニュアル」
- 5 ページの 「保証と著作権」

新機能

OpenText eDirectory CE 24.4 (v9.3) の主要機能、拡張機能、およびこのリリースで解決された問題を以下に示します。

NICI 3.3.0.0000 のサポート

このリリースの OpenText eDirectory には NICI 3.3.0.0000 が含まれているため、OpenSSL 3.0.15 のサポートが追加されています。

ブランディングの変更

Micro Focus は現在、OpenText の一部です。OpenText ブランドに従うため、製品名、ロゴ、会社名の参照、およびマニュアルが更新されています。OpenText のバージョンメカニズムでは CY.Q (暦年 . 四半期) という形式を使用します。9.3 リリースから、OpenText eDirectory は OpenText のバージョン規則に従います。NetIQ eDirectory 9.3 は、OpenText™ eDirectory 24.4 (v9.3) と呼ばれます。この変更は、インストーラおよびユーティリティで適用されています。

TLS 1.3 および OpenSSL 3.0.15 のサポート

OpenText eDirectory は、OpenSSL 3.0.15 を使用した TLS 1.3 プロトコルのサポートを拡張し、OpenText eDirectory および他のアプリケーションとのネットワーク上での安全な通信を可能にします。詳細については、「LDAP オブジェクトを環境設定する (https://www.netiq.com/documentation/edirectory-93/edir_admin/data/agq8auc.html)」を参照してください。OpenText eDirectory では、OpenSSL 3.0.15 アップデートの一部としていくつかの変更が加えられました。OpenText eDirectory 9.3.0 にアップグレードする前に、必要なチェックリストで必須の前提条件およびインストール後の手順を確認してください。

依存するコンポーネントの更新

このリリースでは以下のサードパーティコンポーネントのサポートが追加されました。

- OpenSSL 3.0.15
- OpenLDAP 2.6.8

サポートしているオペレーティングシステム

OpenText eDirectory の以前のリリースでサポートされているプラットフォームに加え、このリリースでは、次のオペレーティングシステムのサポートが追加されています。

- Red Hat Enterprise Linux (RHEL) 8.8、8.9、8.10、9.2、9.3、および 9.4.
- SUSE Linux Enterprise Server (SLES) 15 SP3、SP4、SP5、および SP6。

解決された問題

このリリースには、次のソフトウェアの修正が含まれています。

コンポーネント	問題 ID	説明
OpenText eDirectory	OCTCR56A607008	CachedAttrsOnExtRefs に追加されるデフォルト属性から nsimAssigments が削除されました。アップグレードシナリオを処理するために、nsimAssigments が存在する場合にクリアするコードが追加されました。
OpenText eDirectory オブジェクトまたはプロパティ	OCTCR56A573529	DSAGetEffectiveRights でコンテキストリークが発生する可能性があります。

コンポーネント	問題 ID	説明
LDAP	OCTCR56A603226	nldap は、付属の OpenSSL バージョンで使用可能な暗号の一部をサポートしていません。
NDS サーバ	OCTCR56A562236	別の属性コンテナに移動された属性でソート制御が指定されている場合、LDAP 検索が失敗します。
OpenText eDirectory オブジェクトまたはプロパティ	OCTCR56A572507	サーバ証明書 (外部 CA) を作成すると、間違ったサブジェクト名が使用されます。
OpenText eDirectory ユーティリティ	OCTCR56A573156	NDS iMonitor を保護する方法 (TLS バージョン / 暗号スイート)。
OpenText eDirectory	OCTCR56A648107	ndsconfig エラーは、マニュアルのエラー説明に含まれている必要があります。
OpenText eDirectory	OCTCR56A658336	NMAS エラーの -16000 から -16059 までがマニュアルのエラーコードセクションに含まれていません。
OpenText eDirectory	OCTCR56A663048	nds-install が RHEL 9.4 で動作しません。

システム要件

前提条件、ハードウェア要件、およびサポートされるオペレーティングシステムについては、『*OpenText™ eDirectory CE 24.4 (v9.3) インストールガイド* (https://www.netiq.com/documentation/edirectory-93/edir_install/data/bookinfo.html)』を参照してください。

インストールまたはアップグレード

OpenText eDirectory CE 24.4 (v9.3) にアップグレードするには、バージョン 9.2 が必要です。バージョン 9.2.8 または 9.2.9 で EBA (Enhanced Background Authentication) を有効にしている場合は、バージョン 24.4 (v9.3) にアップグレードできます。eDirectory のアップグレードの詳細については、「OpenText eDirectory を 24.4 (v9.3) に移行する」(https://www.netiq.com/documentation/edirectory-93/edir_install/data/migrationg-edirectory.html) *(『OpenText™ eDirectory CE 24.4 (v9.3) インストールガイド』) (https://www.netiq.com/documentation/edirectory-93/edir_install/data/bookinfo.html)* を参照してください。

注 : このバージョンの OpenText eDirectory を使用する前に、Identity Manager をアップグレードする必要があります。バージョン互換性の詳細については、「OpenText Identity Manager CE 24.4 (v4.10) のシステム要件 (https://www.netiq.com/documentation/identity-manager-4.10/system-requirements-identity-manager-4.1x/data/system-requirements-identity-manager-4.1x.html#)」にある「OpenText™ Identity Manager コンポーネントのバージョン (https://www.netiq.com/documentation/identity-manager-4.10/system-requirements-identity-manager-4.1x/data/system-requirements-identity-manager-4.1x.html#identity_manager_components_versions)」の表を参照してください。

既知の問題

OpenText は、弊社の製品が企業のソフトウェアの必要にかなった質の高いソリューションを提供できるよう努めています。次の問題は、現在調査中です。いずれかの問題についてさらに支援が必要な場合は、テクニカルサポートに連絡してください。

NICI FIPS が無効な場合でも TLS_FIPS フラグの値が 1 と表示される

問題 : NICI FIPS が無効になっている場合は、eDirectory のアップグレード後、OpenSSL および NICI は非 FIPS モードに設定されます。ただし、OpenSSL で FIPS が無効になっている場合でも、n4u.server.fips_tls フラグには 1 が表示されます。

解決策 : 現時点で解決策はありません。ただし、機能の損失はありません。

その他のマニュアル

- 4 ページの 「OpenText Identity Console」
- 4 ページの 「Novell International Cryptographic Infrastructure (NICI)」
- 4 ページの 「Open Enterprise Server に関する OpenText eDirectory の問題」

OpenText Identity Console

OpenText Identity Console の詳細については、OpenText Identity Console (https://www.netiq.com/documentation/identity-console/) マニュアルのページを参照してください。

注 : OpenText eDirectory 9.2.9 または 9.2.8 および OpenText Identity Console 1.8 を Linux にインストールしている場合は、OpenText eDirectory を 9.3.0 にアップグレードする前に、OpenText Identity Console をバージョン 1.9 にアップグレードします。

Novell International Cryptographic Infrastructure (NICI)

NICI 管理ガイドは、OpenText™ eDirectory マニュアルのページ (https://www.netiq.com/documentation/edirectory-93/nici_admin_guide/data/front.html) に組み込まれました。

Open Enterprise Server に関する OpenText eDirectory の問題

Open Enterprise Server (OES) に関する OpenText eDirectory の問題の詳細については、OES Readme (https://www.microfocus.com/documentation/open-enterprise-server/24.4/oes_readme/beioh9y.html) を参照してください。

保証と著作権

Copyright 2009 - 2024 Open Text All rights reserved.

Open Text、関連会社、およびライセンサ (「Open Text」) の製品およびサービスに対する保証は、当該製品およびサービスに付属する保証書に明示的に規定されたものに限られます。本書のいかなる内容も、当該保証に新たに保証を追加するものではありません。Open Text は、本書に技術的または編集上の誤りまたは不備があっても責任を負わないものとします。本書の内容は、将来予告なしに変更されることがあります。